

平成 28 年度事業方針

平成 27 年度は介護保険が大幅に改定され苦しいスタートとなり、平成 28 年度も厳しい状況は続きます。特に養護老人ホームは入所希望者が減少し、一部定員割れを起しているにも係らず、市外へ人材を送るといった現実も起っています。鈴蘭台荘は措置施設の養護老人ホームとして、経済的に苦しい、生活困窮者も受け入れてその人々が安心して安全に過ごしていただけるよう生活支援し、ここに来てよかったと思っただけけるよう力を尽くします。

あつてはならない虐待は世間でも施設でもあとを絶ちませんが、人権尊重、法令遵守を心がけます。

自然界でも地震、火山噴火、想定外の風雨による災害、土砂崩れ等痛ましい出来事や事件は後を絶ちません。その為の対策会議等を繰り返し行い万一に備えて万全を期します。

縁あつて当荘に入所された利用者、ここに来て良かったと思っただけけるよう見守り、そして心安らかに当荘で過ごしていただけるようお世話できることを願っています。

重点事項は次のとおりです

1 施設整備

- 平成 27 年度特殊建物の耐震診断を受けた結果、当初心配した程に中心が傷んでおらず、補強工事が十分可能とのこと。平成 28 年度神戸市の大規模改修の補助金を申請するべく準備を進めています。但し、新しい建築法では居室の入口等に木造は不適切等々改善しなければならないところも多く出てきます。利用者の安全が図られ、より快適な生活が出来るよう、住環境の改善を図ります。
- 2 人部屋を一部個室化し、個室を希望される入所者への対応を図ります。ADLが低下し、車椅子利用の方の入浴介護が困難を極めています。個室の浴室を設置し、歩行不自由な方が快適に入浴できるよう、又、同時に介護職員の業務省力化も図りたいと考えています。
- その他必要に応じて、小規模改修を実施します。

2 人権尊重と職員の生活支援のスキルアップ

「一日を笑顔で過ごす」、「風通しの良い職場づくり」が全職員の目標です。

養護老人ホームは健常者と要介護者、生活歴も様々な方が混在されているが互いの不満の溜まらないよう配慮します。介護のスキルアップを図り、温かい心の通った個別サービスに務めます。問題発生の際には、行政、家族と連絡を取り、速やかに対応し問題解決に当たります。

小規模ながら地域で必要とされる措置施設として養護老人ホームの役割を果たします。

介護保険利用の人にはヘルパーとして、又、養護老人ホームの職員として、利用者

が安全に安心して暮らせるよう生活の支援に励みます。その他、各種会議や研修に励み介護のレベルアップを図ります。